



# 中国の医療制度

# 目次

---

- 01 中国について
- 02 医療提供体制①
- 03 医療提供体制②
- 04 指定病院制度
- 05 病院での支払い方法
- 06 公的保険制度
- 07 mediPhoneについて



# 中国について

## 基本情報

面積：約960万平方キロメートル（日本の約26倍）

人口：約14億人

民族：漢民族（総人口の約92%）、55の少数民族

宗教：仏教・イスラム教・キリスト教など



## 少数民族について

中国には漢族のほかに55の少数民族が暮らしており、総人口の約8%を占めています。都市部においても教義にのっとり飲酒をしない者（回族など）がおり、チベット自治区や新疆ウイグル自治区においては、独自の信仰を有する少数民族が多数居住しています。それぞれの民族の風俗、習慣への配慮が必要です。

また、新疆ウイグル自治区については、民族問題に起因すると思われる無差別殺傷事件や社会不満を背景とした爆発事件が発生し、極めて厳しい治安対策がとられています。



# 医療提供体制①

## 医療機関数

中国の医療衛生機関数は2022年末までで103万2,918か所となっています。

そのうち、病院は 36,976 か所、末端医療機関（社区卫生サービスセンターや衛生院、衛生室等）は 979,768 か所、専門的公衆衛生機関は 12,436 か所です。また、病院のうち、公立病院は 11,746 か所、民営病院は25,230 か所です。

### 全国の医療衛生機関数：103万2,918か所

#### 病院

**36,976か所**

公立病院：11,746か所

民営病院：25,230 か所

#### 末端医療機関

（社区卫生サービスセンターや衛生院など）

**979,768か所**

#### 専門的公衆衛生機関

**12,436か所**

## 医療提供体制②

### 病院機能による分類

中国の公立病院は規模や役割によって1級から3級に分類されています。各居住地域に設置されている1級病院は日常の診療のほか地域住民の健診や予防接種などを行う診療所です。2級病院は市内各区を対象に総合的に診療を行う中規模病院で、3級病院は市全体を対象として高度な診療を行う大規模病院です。どの病院にも、西洋医学による治療を行う医師のほかに中国の伝統的医学による治療を行う中医がいて、生薬や針灸による治療も行っています。

等級	概要	病床数	病床当たり医療スタッフ
3級病院	複数の地区に専門性の高い医療サービスを提供し、高等教育、技術的任務を有する病院	500床以上	医師：1.03人以上 看護師：0.4人以上
2級病院	複数のコミュニティに総合医療衛生サービスを提供し、一定の教育的、技術的任務を有する病院	100～499床	医師：0.88人以上 看護師：0.4人以上
1級病院	一定の人口規模を有するコミュニティに予防、医療、保健、リハビリテーションサービスを提供する基礎病院、衛生院	20～99床	0.7人以上

# 指定病院制度

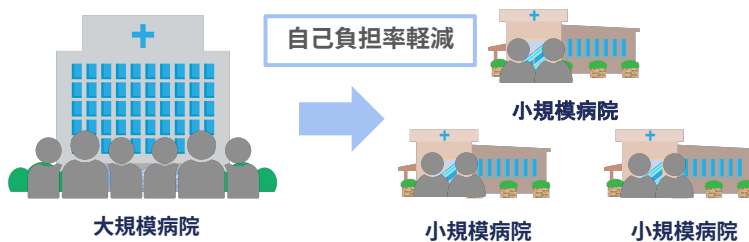
医療保険給付の対象となる病院や薬局は政府が指定しており、指定病院・薬局以外でサービスを受けた場合は保険の対象外になります。被保険者は指定病院の中から3～5か所の病院を選択・登録します。

## 選択・登録方法

- ①まずはかかりつけ医や社区卫生サービスステーションを選択
- ②次に専門病院、総合病院、中医（漢方医）病院を選択



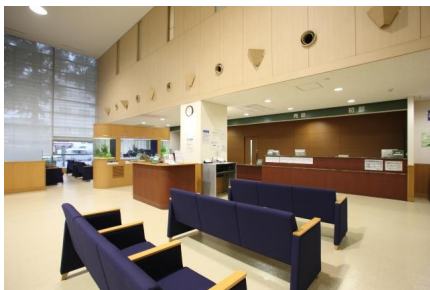
中国では3級病院などの**大規模病院**への**患者の集中**が課題となっており、医療費の自己負担率は小規模病院ほど低く設定され、小規模病院への利用を誘導しています。



# 病院での支払い方法

## 窓口で先払い

中国の病院では、一般的に最初に窓口で支払いをします。救急車で運ばれた場合も同様です。救急の場合は120に電話して救急車を呼びますが、距離、救急車の設備、医療関係者の同乗などで金額が変わってきます。多くの総合病院では、外国人や裕福な中国人向けに「VIP診療部」、「特診部」、「国際医療部」、「特需門診」等と名付けられた専用部門を設けています。



**Point ①**  
病院窓口で最初に支払い



**Point ②**  
救急車は有料

# 公的保険制度

中国の医療保険制度は①都市従業員基本医療保険制度と②都市・農村住民基本医療保険制度の2つがあり、医療保険制度への加入率は95%を超えているとされています。

種類	都市従業員基本医療保険制度	都市・農村住民基本医療保険制度
概要	都市企業の従業員・その退職者を対象にした強制加入の医療保険制度。	都市従業員以外の都市・農村住民を対象にした任意加入の保険制度。
運営主体	直轄市、市	市
給付対象	医薬品購入費用、入院費用、外来費用 ※院内生活費、救急医送費、付添看護費、医療以外の病院内設備利用費、食費等は給付対象外。 ※一定額まで免責制、給付上限あり	基本的に入院費用（地方の状況に応じて外来費用も給付可能） ※一定額まで免責制、給付上限額あり
本人負担割合	以下の状況や地域によって異なる。 ・受診病院のレベル（大病院ほど自己負担割合が高い） ・医療費の額（高額になるほど自己負担割合が低い） ・在職者が退職者か（退職者の方が自己負担割合が低い）	都市従業員基本医療保険制度と同様。ただし、自己負担割合は同制度より高い。

# mediPhoneについて

mediPhoneは医療制度・文化の違いを理解した通訳者が通訳します

## 遠隔医療通訳

専門の通訳者による通訳が

**32言語・24時間**  
利用可能



## 機械翻訳

医療現場に特化したAI翻訳が

**最大107言語・24時間**  
利用可能

- ✓ 国内最大級の登録医療通訳者数で最大 32言語に対応
- ✓ 安心の医療特化体制で応答率 99%・IC/ムンテラも即応
- ✓ 既存の電話回線+アプリ活用で院内のどこからでも利用可能